



ご挨拶

けやき会 会長 ウイリアムソン 彰子

所属：神戸大学医学部附属病院
教育担当副看護部長

この度、2022年5月の総会より「けやき会」の会長に就任しましたウィリアムソンと申します。私は兵庫県立看護大学の1期生として平成9年度に卒業をしましたので、看護師となり26年目となりました。卒業後も兵庫から離れることなく、大学院前期課程、後期課程でも学ばせていただき、助教として勤務していた期間も合わせると、16年間も明石キャンパスにお世話になりました。学舎は年数を重ねていますので年季を感じるところもありますが、キャンパスのいたる場所に共に学んだ同窓生やご指導いただいた先生方との思い出があり、足を運ぶ度にホッとした気持ちとなります。

前けやき会会長の奥村和代さんから会長引き継ぎのご相談をいただいた時には、若い方へ役割を送っていただく方が良いのではないかと考えもしましたが、ここまで育てていただいた母校に恩返しできれば嬉しいとも思い、お引き受けすることとしました。また、各地で看護職として力を発揮されている卒業生の皆様と共に、COVID-19禍で様々な制限を受けながらも看護師を志して学んでいる在学生の方々の為にできることに取り組む所存です。皆様のご支援の程を何卒よろしくお願いいたします。

兵庫県立看護大学は関西圏で初の公立大学として開学をしました。そして、来年の令和5年には設立30周年を迎えます。この明石の地で学んだ3,000人以上の看護師が国内外で活躍していることを共有できるような同窓会運営を執行役員の方々と共に進めて参りたいと思います。その為には、この度お届けしております会報誌の郵送は令和5年度で終了し、HPを中心としたタイムリーな情報発信へと移行させていこうと考えています。同窓会のHPが一方向の情報発信の場ではなく、会員同士で情報共有ができる場としても活用していただきたいとも考えており、管理会社とも打ち合わせをスタートさせております。つきましては、会員名簿に登録されているメールアドレスについてご確認をお願いいたします。会報誌のデジタル化により、その他の事業へ活用できる予算が確保できますので、皆様のご意見をお寄せいただきながら、同窓会活動



の活性化に繋げていきたいと思ひます。

さて、2020年の年明けとともに猛威をふるい続けている新型コロナウイルス感染症ですが、すでに3年が経ち、その間に私たちの生活や医療の現場、社会のニーズ等が激変しました。私達は看護職として、人と人の交流を断たせた疫病と闘い続けてきましたが、皆様自身の心身の健康は大丈夫でしょうか。私は高度急性期病棟の管理者として勤務していますが、大変疲れが蓄積されてきていますし、終わりが見えない中での不安も続いています。しかし、看護の働きがこれほど世間から注目され、称賛されたことが無かったのも事実なので、看護師として社会貢献できることを誇りに感じています。在学生の皆さんは、医療現場からの悲鳴ともいえる大変な報告が日々報道される中であっても、看護職を志し、医療を担う一員になろうと努力されていることにも大変励まされます。そして、いつも私達を見守り、受け入れてくださる母校の先生方の存在に私達は支えられていると思ひます。けやき会は、卒業生、在学生、そして教員の皆様で構成される組織であり、学舎から巣立った後も私達の心の拠り所となる情報を発信できるような組織運営を継続していきたいと思ひます。

令和5年12月23日（土）には、明石キャンパスにて開学30周年記念事業を開催できるように準備が進められています。是非とも、この日は明石キャンパスに足を運んでいただければ嬉しく思ひます。とはいえ、明石までお越しになれない方もいらっしゃることも想定をして、記念講演については、Web上で視聴できるように対応予定です。周年事業に向けて、様々なご連絡、ご依頼をさせていただくことがあろうかとも思ひます。本会報誌にても「けやき会マスコットキャラクターの募集」等、会員の皆様のご支援をお願いする記事の掲載がございます。ご多用のこととは存じますが、けやき会活動及び周年事業にご協力いただけますと有難く存じます。どうぞ、よろしくお祈りいたします。

けやき会HP

URL : <https://keyaki-kai.com/>

けやき会のご案内や事務局からのお知らせ、会報等をご覧ください。

ご自身の登録内容の更新・変更はホームページの「会員情報の修正」からお手続きができますので、ご利用ください。



けやき会主催

講演会

皆さん、いかがお過ごしでしょうか。今年の5月15日(日)には、3年ぶりに、地域住民の方々を明石看護キャンパスにお招きして、樺まつりを開催いたしました。樺まつりの活動内容やその様子については、学生会の窪田颯来さんが記載してくださっているページをご覧ください。私たちも、実際に、樺まつりにも参加しましたが、それぞれのブースでの企画が盛り上がっていて、参加されている地域の方々とはとても楽しそうでした。大成功だったように思います。窪田さんをはじめ、学生会の皆さん、ありがとうございました！！

さて、例年、兵庫県立大学同窓会のけやき会では、この樺まつりのなかで、けやき会主催の講演会・総会を企画しており、本年度もオンライン形式(ZOOM)にて開催いたしました。新型コロナウイルス感染症が流行した2020年からは、感染状況や感染予防対策の観点を鑑みながら、明石看護キャンパスでお集まりいただく対面形式ではなく、ご自身のPCやデバイス機器にてご参加いただくオンライン形式に切り替えるなど、皆さんにとって楽しく、有意義な企画になるように運営を行ってきました。

今年の講演会では、本学の看護学部・在籍する坂下玲子先生(副学長・基礎看護学)、工藤美子先生(学部長・母性看護学)、高見美保先生(老人看護学)、本田順子先生(小児看護学)、小野博史先生(基礎看護学)、卒業生・修了生で本学の連携研究員でもある竹原歩さん(兵庫県立はりま姫路総合医療センター所属)をお招きして、「これからの看護に向けて～同窓生と在学生に向けてのメッセージ～」というテーマのもと行いました。この講演会のなかでは、講師の方々に、本学部が大切にしていることや活動の取り組み、また、教育・現場・研究という立場からこれからの看護についてご講演をしていただきました。CANSに関わる人たちが垣根を越えて看護に対する考えを共有することができ、とても有意義でした。昨年度に続いて、ZOOMによる開催といたしましたが、45名(けやき会役員を除く)の方々が参加してくださいました。工藤先生からは、本学看護学部のカリキュラムについてご紹介いただきました。坂下先生のご講演では、冒頭に、看護の未来についての問いを投げかけていただき、そのなかで、現在、看護として

取り組んでいる、先端医工学研究所や地元創生看護、データヘルス・プロジェクト、看護ケアの質評価・改善システムに関するさまざまなプロジェクトやその取り組みをお話しいただきました。また、講義全体を通して、日々私たちが実践している看護を言語化すること、理論と研究、実践を循環させながら知を生み出していくことの大切さを改めて実感することができました。ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。

講演会実施後のアンケートでは、「大学の新しいカリキュラムや取り組みについて知ることができ、これからもっと学びたいと感じた」「先生方の看護に対する熱い想いや未来の看護に関するお話など心に響いた」「AIなどハイテク化が進む半面、人の生活を支援するアナログの部分は変わらない。大学として、その両方に目を向けた研究や教育がなされていることを知った」「看護の魅力、対話の大切さを再確認できた」「自分がこれからやりたい看護がどういうものなのかを考える良い機会となった」などの声が寄せられました。

来年5月の講演会は、どのような形式で開催するのか、どのような内容を企画するのかはまだ決定していません。この2年間は、新しい試みとしてオンラインという形で実施をしてきましたが、オンラインのメリットとして、遠方に住んでいる方々、なかなか時間調整が難しい方々も、時間や場所に縛られないため気軽に参加できるということがあると思います。一方で、デメリットとして、通信環境や通信トラブル、スキルやノウハウの必要性、臨場感が薄れる、参加者とのコミュニケーションのとりづらさなどが挙げられ、これから検討していかなければならない課題もあります。対面だからできること、オンラインだからできることがあると思います。それぞれのメリットや皆さんのご意見を活かしながら、今後も、CNASの在校生や卒業生、修了生、教員たちが繋がることで、ホッと気の休まるような、楽しい企画を考えていきたいと思っています。来年の講演会に向けて、こんな企画があれば参加してみたいなどのご要望がありましたら、けやき会ホームページより是非ご意見をお聞かせください。今後とも、同窓会けやき会をよろしくお願いいたします。



樺まつり

樺まつり実行委員長 窪田 颯来

5月15日、感染症対策を講じながらではありますが3年ぶりに地域の方を入れての樺まつりを開催することができました。コロナ禍になってからの樺まつりは開催中止や対面ではなくオンラインでの開催となるなどしていたため、私たちは樺まつりを経験しておらず、そのため以前の様子を一切知らないまま準備をしてきました。感染症対策を講じながらの開催となったこともあり様々な制限がありました。その中でも、先輩たちが残してくださっていたものを参考にしながら、これまで通り引き継いで行うことができるものは何か、できなくなってしまったものの代わりとして新たに何かできることはないか、感染症対策と樺まつりが盛り上がることを両立させるためにどのような工夫ができるのかなど様々なことを考え、工夫しながらの準備となりました。私自身、樺まつりの長としてどのように振舞えばよいのかが分からず、始めの頃は上手く連携を取ることができなかったために思うように準備が進みませんでした。しかし、学生会のメンバーや先生方などに支えられ、少しずつ前に進みながら準備を行うことができました。当日までは、数年ぶりの開催ということでのプレッシャー、本当に樺まつりを成功させることができるのか、そもそも開催することができるのかという不安の気持ちもありましたが、当日になってみるとそんなことを考えていた自分が嘘みたくに充実した気持ちでいっぱいになりました。

今年の樺まつりでは体験・学び舎のコーナーやスタンプラリー、ステージや様々な展示などはこれまで行ってきたものから継続して行い、実施することができなかった足浴やフリーマーケットに変わって障がい者スポーツ体験を新たな試みとして実施しました。当日体験していた方の様子を見てみると、楽しみな

がら体験してくださっている様子を見ることができて、とても嬉しくなったと同時に、新たな試みとして企画してきてよかったと感じました。障がい者スポーツだけではなく、その他の各ブースでも多くの方が楽しみなが様々な体験をしている様子を見て、多くの人に健康などのことについて考えてもらおうきっかけにすることができたのではないかと思います。

樺まつりを開催した中で、私がとても強く感じたことがあります。それは、ここ何年か開催されていなかった樺まつりの開催を心待ちにしてくださっていた方がたくさんいらっしゃったということです。樺まつりの準備をしながら、私はどれくらいの方が来場してくださるのか分からなかった部分もあり、そんなに多くの方は来ないのではないかと考えていました。しかし、いざ当日になると私の想像以上に多くの方が来場してくださり、各ブースでは楽しみながら体験している様子をうかがうことができました。樺まつりは地域の方々にとってもとても大切なイベントの一つとなっていて、それはこれまでの先輩方によって積み重ねてきたものがあったからなんだと感じました。数年ぶりに開催することができた今年の樺まつりはとても重要な意味を持ったものであったということを感じて、だからこそ今年の樺まつりの長を務めることができて、様々な体験をすることができてよかったと改めて心から思うことができました。来年以降の樺まつりもどうなるか分からない部分はあるとは思いますが、これからの樺まつりも成功することを願っています。

最後になりますが、学生会メンバーや先生方を始めとしてご協力くださった皆様、樺まつりに参加して下さった皆様には感謝の気持ちしかありません。本当にありがとうございました。

けやき会より

メールアドレス登録のお願い

2024年より、会報や総会などのご案内を郵送からメール配信に切り替える予定にしております。2022年3月以前に卒業・修了し登録された方および変更のある方は、けやき会のホームページから【会員情報の修正】にアクセスして頂き、メールアドレスの登録・修正をお願いいたします。

けやき会ホームページ【会員情報の修正】

<https://keyaki-kai.com/member-address-fix/>



2023年度けやき会役員募集

同窓会の役員は、多くの場合、母校で教員をしている同窓生が担ってきました。しかし、会員数も3,000名を超え、久しぶりに母校と繋がりたい方、学生時代に学生会で活躍された方など、若手からベテランまで、幅広い年代の方々と同窓会を盛り上げていきたいと考えております。そこで、開学30周年を機に、同窓生の皆さまから役員を募集させて頂きたく存じます。けやき会の役員の活動にご興味のある方は、メールにてご連絡ください。よろしくお願いいたします。

連絡先：keyakikai.cnas@gmail.com

30周年記念事業

兵庫県立大学看護学部は、30周年を迎え、記念事業は、2023年に20周年を迎える地域ケア開発研究所とともに開催されます。概要は以下の通りです。詳細は、学部のホームページをご確認ください。

日 時：令和5年12月23日(土)

場 所：兵庫県立大学明石看護キャンパス

テーマ：歴史を胸に、1歩前へ ～CNA S30ケア研20～

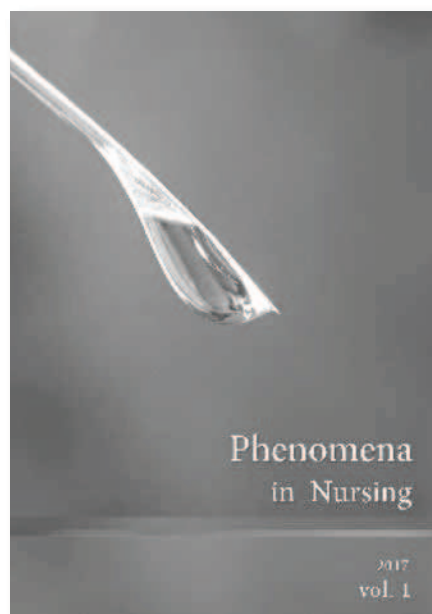
マスコットキャラクター募集

けやき会では、今後、学部と共同しマスコットキャラクターを募集・決定・活用したいと考えております。次回の会報にて応募方法についてご案内をさせていただきますので、絵心のある方はご準備頂けると幸いです。

けやき会会員の皆さまへ

臨床看護研究支援センターからのご案内

臨床看護研究支援センターは、けやき会の助成を受けて運営しています。センターの機関紙であるPhenomena in Nursingでは、他の雑誌では掲載されにくい実践報告も積極的に採択しています。2021年5巻1号に掲載された2件はどちらもけやき会会員の論文です。査読が通れば無料で掲載されますので、ぜひ積極的に会員のみなさまの成果公表にご活用ください。



学術情報館からのお知らせ

学術情報館では、卒業生・修了生の学習・研究活動支援のため、下記のサービスを提供していますので、ご利用ください。(1)医中誌Webの検索サービス（窓口で申請）、(2)医中誌Web、PubMed検索時に入手可能と表示されたMedical Online、ProQuestの文献限定で、複写サービス（窓口で申請、受取り）、(3)来校できない遠方の卒業生・修了生に対して、Medical Online、ProQuestの文献限定で複写サービス（電子メールで申請、郵便で返送。1文献あたり上限15枚、一人年間10回を目安）、(4)Medical Onlineのアブストラクト（1件110円）が無料で検索可能となるID/PWを提供、(5)学術情報館ホームページからUH Discovery文献検索サービス

お問い合わせは、laic-akashi@lib.laic.u-hyogo.ac.jp までご連絡ください。なお、これらのサービスは、卒業生・修了生以外の方は利用できません。

兵庫県立大学と兵庫県立はりま姫路総合医療センターとの包括連携協定

2022年5月兵庫県立大学先端医療工学研究所と兵庫県立はりま姫路総合医療センターが同じ敷地に開所・開院しました。大学と病院は包括連携協定をむすび、臨床の希望や困りごとから医療ヘルスケア機器など研究開発に取り組み、地元企業との共同研究を積極的に受け入れ、医療専門職を育成するために人材交流を図るなど、臨床・研究・教育をつなぐ場づくりを行っています。8月には研究所内にイノベーションサロンが完成しました。臨床家と研究者が集い、対話する拠点となることを期待しています。

成人看護領域からのお知らせ

成人看護事例検討会

成人看護学では、成人期に病いをもった患者様やご家族への看護支援について事例を通して考えるため、専門看護師からの知識提供を含めた、看護を検討する会を、Web開催で実施しております。遠方からでも参加できますので、一緒に働いておられる病院や施設の方々にもお声かけいただき、ご参加をお待ちしています。

今年度の残りの開催予定は下記のとおりです。

日 程：第3回 2022年12月17日（土）
時 間：13：00～15：00
開催方法：zoom

参加費：無料

申込み方法：成人看護学のホームページ（QRコード）よりお申し込みになれます。

ホームページ：https://dousoukai.site/u-hyogo-seijin/meeting/

連絡担当：成人看護学 森 菊子

Eメール：kikuko_mori@cnas.u-hyogo.ac.jp

T E L：078-925-9447



老人看護領域からのお知らせ

兵庫・老人看護研究会（本学と遠隔会議システムのハイブリッド形式にて開催予定）

【令和4年度の開催予定】

7月30日（土）14時～16時：終了

12月10日（土）14時～16時

令和5年3月4日（土）14時～16時

*原則、本学大学院の修了生を対象としています。

希望があれば、高見（miho_takami@cnas.u-hyogo.ac.jp）まで問い合わせてください。

認知症看護事例検討会（遠隔会議システムにて開催予定）

【令和4年度の開催予定】

7月2日（土）14時～16時：終了

11月12日（土）14時～16時

令和5年3月：開催日は未定

*兵庫県看護協会の認知症看護認定看護師コース修了生が主体となって運営しています。臨床の方々のご参加も歓迎しています。希望があれば、中筋（yoshiko_nakasuji@cnas.u-hyogo.ac.jp）まで問い合わせてください。

精神看護領域からのお知らせ

精神看護勉強会

精神看護勉強会は、精神看護の実践家の方々とともに、実践の奥深さを学びあう事例検討会です。

2022年度開催予定（第112回、第113回は終了しました）

第114回勉強会 2023年2月11日（土）13:30～16:00

対 象 看護師（精神医療、精神看護に携わる他の医療従事者も含む）

方 法 オンライン（Zoom）

精神看護CNSの集い

精神看護CNSの集いは、精神看護専門看護師の事例検討会です。グループ・スーパービジョンの有意義な機会となっています。

2022年度開催予定（第35回、第36回は終了しました）

第37回勉強会 2023年2月11日（土） 10:00～12:00

対 象 精神看護専門看護師教育課程を修了された方

方 法 オンライン（Zoom）

お申し込み方法 メールにてお名前・ご所属・連絡先を明記のうえ、お申し込みください。
 なお、勉強会中に知り得た個人情報の守秘義務が生じますことを、ご承諾ください。
お申し込み E-mail: pmhn.cnas@gmail.com
 担当: 兵庫県立大学 看護学部 林田（精神看護勉強会）、菊池（精神看護CNSの集い）
お問い合わせ先 〒673-8588 兵庫県明石市北王子町13番71号
 Web: <http://www.pmhn-cnass.jp> TEL / FAX: 078-925-9431

母性看護領域からのお知らせ

母性看護事例検討会

母性看護学領域では、母性看護の臨床で直面する事例に焦点を当て、その事例に関する問題や課題に対する具体的な解決を考えること、参加者自身の気づきや理解を深めることを目的に事例検討会を行っています。例年は対面で実施していましたが、昨年度よりCOVID-19感染症の影響を考慮し、オンライン（Zoom）で実施しております。

卒業生・修了生の皆様はどなたでも参加可能です。事例を提供したい方や、参加したい方は、ぜひ右記までご連絡下さい。

2023年2月に開催予定です。 時間：18:00～（オンライン）

（日程が決定次第、母性看護HPにてお知らせします。また、2月以降の開催日程は調整中ですので、日程が決定しましたらご案内いたします。）

連絡先：母性看護事例検討会事務局（沼田）

【電話】078-925-9441 【メール】fukumi_numata@cnas.u-hyogo.ac.jp

母性看護学領域同窓会

毎年、母性看護学と助産師養成課程で実践研究をした卒業生、修了生、在校生、教員を含めた母性看護学領域同窓会を開催しています。昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、皆様と安全に再会できるよう、一昨年度に引き続きオンライン（Zoom）にて開催しました。本年度も新型コロナウイルス感染症の影響を考慮しつつ同窓会を開催する予定です。開催時期および開催方法が決定次第ご連絡差し上げます。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

臨床看護研究支援センターからのお知らせ

臨床看護研究支援センターでは、臨床現場（医療・福祉施設、地域を含む）と大学が連携し、看護ケアの質的向上を図ることを目的として、兵庫県立大学看護学部の教員が、看護研究、看護教育、コンサルテーション、教員の専門知識を活用したセミナーなど多彩な支援を行っています。皆さんの臨床実践能力向上の機会や、問題解決の相談相手として積極的にご活用ください。セミナーの詳細な内容や申し込み手続き、相談は、臨床看護研究支援センターのホームページ（<http://kango-kenkyu.org/>）からアクセスすることが可能です。

今後のイベント開催予定

・あなたの修士論文、眠らせないで論文投稿へ

日 時：令和5年1月28日（土）

場 所：明石看護キャンパス

講 師：撫養真紀子（兵庫県立大学看護学部 教授）

谷田 恵子（兵庫県立大学看護学部 准教授）

・第2回理論看護研究会（専用ホームページ：<http://theoretical-ns.umin.jp/index.html>）

日 時：令和5年3月4日（土）

場 所：Zoomミーティング

講 演：Dr. Danny Willis（St. Louis University）

山本則子先生（東京大学）

・9月1日から11月30日まで、発表の演題抄録を受け付けています。

皆さまの参加をお待ちしております。

会報発行協力金協賛者一覧

(2022年9月30日 現在)

■令和4年

名誉会員

鵜飼 和 浩
片 田 範 子
山 本 あい子

特別会員

鵜 山 治
勝 田 仁 美
松 田 裕 子
吉 本 祥 生

平10

鈴木(東)和代
得平(新川)佐織

平11

吉岡(田口)加代

大森(田中)美和

平12

井 上 史 子
住岡(西村)まどか

平13

高野(今岡)春奈
田中(今村)亜由美

平14

山本(赤曾部)一代
槻木(戸川)直子

平16

足 立 理 恵
野長瀬(谷口)真由美
青木(中地)陽子

平19

芝 田 健 輔
山村(福本)愛

平26

伊 藤 麻里子

平29

迫 口 明日香

平31

藤 岡 扇沙希

令2

藤 本 哲 明

平11博前

岩 切 真砂子
佐久川 政 吉

平12博前

藤本(清水)美生
成 田 康 子
森 菊 子

平14博前

八巻(篠崎)和子

平15博前

奥 野 信 行
長 尾 匡 子

平16博前

長坂(玉石)桂子
松 尾 和 枝

平17博前

宇 野 さつき
蒲 池 あずさ

平18博前

永瀬(牛島)由紀子
玉田(三浦)田夜子

平23博前

駒田(浅野)いずみ

平24博前

志藤(山本)千晴

平25博前

濱上(甲木)亜希子

平27博前

山 本 大 祐

令3博前

那 須 麻 衣

平14博後

渡 辺 かづみ

平15博後

寒河江(野澤)美江子

平17博後

呉 小 玉
近藤(佐藤)麻理

平21博後

工 藤 美 子

平23博後

東 ますみ

皆様ご協力ありがとうございます。会報の一部に使わせていただきます。

けやき会からのご案内



けやき会 役員 第21期：2022年6月～2023年5月

会 長 ウイリアムソン 彰子

副会長 西池絵衣子 竹原 歩

会 計 高橋美沙子 濱上亜希子

書記・庶務 武内 玲 田中 愛実 徳田 幸代 清原 花

役員一同頑張ってますので、皆様どうぞよろしくお願いいたします。



6月のある夜、散歩をしていると暗い橋の上で川の方を静かに見ている男性を見つけました。「自殺じゃないよね」「声をかけた方が良いかな」と思いながら近づき、男性の目線の先を見てみると、数えきれないほどの蛍がいました。暗闇の中で放つ優しい光を見てみると、子どもの頃に初めて蛍をみた時の気持ち、大学院生の時に蛍を探しに自転車で走り回った思い出、Withコロナ時代で仕事が忙しく疲れている今、と過去から振り返っていくと、それぞれの時代に辛いこともあったけど良いこともあったなと思い、ほっこりした気持ちで帰路につきました。また来年も蛍に会いに行きたいと思います。

兵庫県立大学同窓会 けやき会 2021年度決算書・2022年度予算案

【決算書】収入の部 (2021.4.1 ~ 2022.3.31) 2022年 3月31日

費 目	2021年度決算額	備 考
会費 2021年度 学部入学	¥1,010,000	101名×¥10,000
2021年度 修士入学	¥60,000	6名×¥10,000
1997年 学部卒業生	¥8,000	1名×¥ 8,000
2006年 学部卒業生	¥10,000	1名×¥10,000
2009年 学部卒業生	¥10,000	1名×¥10,000
雑収入	¥51	利子 (¥19+¥24+¥1+¥7)
CNAS基金からの残高移行	¥1,668,410	
学友会ウェルカムキャンパス	¥283,832	
会報協力金還元金	¥875	
前年度繰越金	¥5,283,765	
収入合計	¥8,334,933	

【決算書】支出の部 (2021.4.1 ~ 2022.3.31)

費 目	2021年度決算額	備 考
I ホームページ		
年間管理費	¥55,000	
II 樺まつり 総会		
案内印刷・郵便利用料	¥269,956	
講師謝金	¥29,320	
III 会報		
会報印刷発送	¥200,000	
IV 事務		
Zoom契約料	¥22,110	
V 寄付金		
兵庫県公立大学法人 (学術情報館)	¥250,000	
臨床看護研究支援センター	¥49,500	
VI 役員交通費	¥1,100	
VII その他		
振込手数料	¥1,100	
支出合計	¥878,086	

2021年度決算残高 収入総計 ¥8,334,933
支出総計 ¥878,086
差引残高総計 ¥7,456,847

2021年度決算報告について監査を行い、以上相違ありません。

監査

徳田幸代 監
清原花 監

【予算案】収入の部 (2022.4.1 ~ 2023.3.31) 2022年 3月31日

費 目	2022年度予算案	人数	会 費
会費 2022年度 学部入学	¥1,060,000	106	¥10,000
修士入学	¥70,000	7	¥10,000
博士入学	¥10,000	1	¥10,000
前年度繰越金	¥7,456,847		
収入総計	¥8,596,847		

【予算案】支出の部 (2022.4.1 ~ 2023.3.31)

費 目	2022年度予算案	備 考
I ホームページ		
年間管理費	¥55,000	
Web総会システム構築費	¥45,000	
II 樺まつり 総会		
セミナー講師代金	¥40,000	
消耗品	¥10,000	
案内印刷・郵便利用料	¥290,000	
III 会報		
会報印刷発送	¥200,000	
IV 事務		
PC並びに周辺機器	¥30,000	
遠隔会議システム	¥23,000	Zoom契約料
V 寄付金	¥300,000	会員・準会員に対する還元事業に限る
VI 役員交通費	¥10,000	
VII 名簿代	¥1,030,000	名簿代5年毎に発行 (令和5年2月支払予定)
VIII 予備費	¥500,000	CNAS30周年事業費含む
支出総計	¥2,533,000	

収支差額 ¥6,063,847

兵庫県立大学同窓会 けやき会 CNAS基金 2021年度決算書

【決算書】収入の部 (2021.4.1 ~ 2022.3.31) 2022年 3月31日

費 目	2021年度決算額	備 考
前年度繰越金	¥1,668,404	
利息	¥6	
収入合計	¥1,668,410	

【決算書】支出の部 (2021.4.1 ~ 2022.3.31)

費 目	2021年度決算額	備 考
けやき会口座への移行	¥1,668,410	令和3年8月17日解約
支出合計	¥1,668,410	

2021年度決算残高 収入総計 ¥1,668,410
支出総計 ¥1,668,410
差引残高総計 ¥0

2021年度決算報告について監査を行い、以上相違ありません。

監査

徳田幸代 監
清原花 監